

## 社会福祉法人 青谷学園が、 高速無線LAN環境を活用し 働きやすい職場づくりを推進

新たにHPE Aruba高速無線LANソリューションを採用し  
週休3日制を支える生産性の高いモバイルワークが可能に

“新しい無線LAN環境は実に  
快適で、パソコンを施設内の  
どこに移動させてもサクサク  
使えます”

—社会福祉法人 青谷学園  
副主任  
畔岡 友香里 氏



### 目的

福祉施設内で利用する無線LAN環境の刷新。事務系職員の業務効率向上に寄与する高速かつ快適なアクセスを実現するとともに、生活支援員による介護業務の負荷軽減にも寄与する。

### アプローチ

802.11 ac Wave2を採用して高速化を図るとともに、つながりやすく途切れにくい高品質な無線LANアクセスが可能なアクセスポイント製品を選定する。

### ITの効果

- HPE Aruba IAP-305を採用し802.11 ac Wave2による高速無線LAN環境を実現
- HPE Aruba IAPの仮想コントローラー機能を利用し、物理コントローラーを導入することなくIAPの統合管理や一括設定が可能に
- 既存ルーターの設定を変更することなくIAPが備えるファイアウォール機能等を利用してアクセスを制御し、ゲスト用の無線LAN環境を提供可能に

### ビジネスの効果

- クラウドアプリケーションを利用する事務系職員のアクセス体験を改善し業務効率を向上
- 高速無線LAN上で職員相互の音声連絡を行うインカムの導入に向けた準備を開始
- ベッドの離床センサーを利用し、就寝中の変化を検知する仕組みの導入を検討
- 将来の施設拡張に伴う無線LAN環境の拡大にも柔軟に対応可能に



社会福祉法人 青谷学園  
理事長  
白樫 忠氏



社会福祉法人 青谷学園  
事務局長  
鈴木 由里子氏



社会福祉法人 青谷学園  
副主任  
畔岡 友香里氏

社会福祉法人 青谷学園が、HPE Aruba高速無線LANソリューションを採用して無線LAN環境を刷新した。HPE Aruba 300シリーズ アクセスポイント (IAP) を採用し、4フロア計およそ4,300㎡の施設内のどこでも802.11 ac Wave2による高速かつ快適なアクセスを実現。クラウドアプリケーションを利用する事務系職員の業務効率を高めるとともに、インカム (ヘッドセット付きトランシーバー) による生活支援員の業務改善を目指している。HPE Aruba製品に精通するリコージャパンが、本環境の導入を全面的にサポートした。

## チャレンジ

### より働きやすい職場環境をめざし 無線LAN環境を刷新

社会福祉法人 青谷学園は、京都府の南部、城陽市でも梅の名所として知られる「青谷梅林」の中にある障害者支援施設である。1982年、昭和57年に障害者支援施設として50名の入所定員で開所した。その後、地域のニーズに応えるため定員を増やし、現在は70名の方が生活されている。青谷学園 理事長の白樫忠氏は次のように話す。

「青谷学園が提供しているサービスは、重度の知的障害者の方を対象にした生活介護と施設入所支援に大別されます。生活介護では、常に介護を必要とする方に対して日常生活上の支援、身体機能や生活能力向上のための支援を行っています。また、施設入所支援では、食事、入浴、排泄から生活に関する相談や助言まで、24時間体制で幅広い支援を行っています」

2012年に施設の建て替えを行い、2・3階の居室はすべて個室となった。1階には2つのダイニンググループや広々としたホールを配置し、利用者が落ち着いて過ごせる空間を提供。バリアフリーや厳格な食品衛生管理方式であるHACCPに対応した調理室を備えるなど、ファシリティを充実させている。

「ご利用者様のために、毎日の入浴や本当においしいと思う料理の提供に努めています。厨房内のベーカリー機器で焼き上げた熱々のパンは大変好評です」(白樫氏)

このような上質なサービスを維持するために欠かせないのが人材の確保。青谷学園では、ワークライフバランスや働きやすい職場環境づくりに積極的に取り組んでいる。

「厚生労働省が子育てに優しい事業所として認定する『くるみん』を2011年に取得しました。2017年には週休3日制を導入し、週4日間の10時間勤務に移行しています。ご利用者様へのサービス品質を維持したまま、従業員の働きやすさを改善できるよう熟慮した結果で、私達としてはチャレンジだったのですが、今はどの従業員にも喜んでもらっています」(白樫氏)

利用者への高品質なサービスと従業員の働きやすい環境を追求してきた青谷学園。2017年、その一環として無線LAN環境の刷新プロジェクトを立ち上げた。

## ソリューション

### HPE Arubaを採用し 無線LAN環境を全面刷新

従来の無線LAN環境は、2012年の施設の改築時に整備された。青谷学園 事務局長の鈴木由里子氏は、刷新を決断した理由を次のように話す。

「2年前に基幹アプリケーションをクラウド化し、さまざまな業務データやご利用者様の情報をどこからでも参照できるようにしました。事務系業務に使うOffice系ソフトもクラウド化したのですが、無線LANのアクセスが不安定でせっかくのクラウドアプリケーションが十分に活かせなかったのです」

PCで作業したデータの保存中にアクセスが止まってしまう事象が頻発したため、業務に支障をきたすケースも少なくなかったという。やむを得ず一部のPCは有線LANに切り替えなければならなかった。

「もうひとつ、高品質なWi-Fi環境を完備していることは、施設の魅力となり人材獲得にも大事なポイントとなります。本学園では実習生を広く受け入れていますので、従業員用とは別にゲスト用の環境もきちんと整備したかったのです」(白樫氏)

無線LAN環境の刷新プロジェクトを全面的に支援したのはリコージャパンである。京都支社 京都第二営業部 南第二営業所 チーフの金道純治氏は、提案のポイントを次のように話す。

「高速でつながりやすく途切れにくい無線LAN環境を実現するために、最新の802.11 ac Wave2規格を利用できる製品を選定しました。また、この清潔で美しい空間に配慮したアクセスポイントの設置方法を慎重に検討しました」

さらに、同社 京都支社 京都S&S部 京都NWサービスステーションの村上義浩氏が次のように続ける。



リコージャパン株式会社  
京都支社  
京都第二営業部  
南第二営業所  
チーフ 金道 純治 氏



リコージャパン株式会社  
京都支社  
京都S&S部  
京都NWサービスステーション  
村上 義浩 氏

「ルーターやセキュリティ機器など既存のネットワークに変更を加えることなく、アクセスポイントだけで従業員用とゲスト用が区分された無線LAN環境を構築することが、本プロジェクトの特別な要件でした。私たちは、すべての要件に応えられるHPE Arubaの無線LANアクセスポイント製品 (IAP) を提案しました」

### IAP内蔵機能を利用し ゲスト用無線LAN環境を構築

リコージャパンが提案したHPE Aruba IAP-305は、最大約7Gbpsの高速通信が可能な802.11ac Wave2に対応し、複数ユーザーに同時にデータ送信できるMU-MIMOを実装している。村上氏は、仕様検討だけでなく実機テストを経て今回のプロジェクトに臨んだ。

「従業員用とゲスト用の無線LAN環境をセキュアに区分するために、HPE Aruba IAP-305が内蔵するNAT機能、DHCPサーバー機能、ファイアウォール機能を活用しました。これにより、上位スイッチなどの設定を変更することなくゲスト用の環境を構築することができたのです。HPE Aruba IAPならではのメリットと言ってよいでしょう」(村上氏)

8台のHPE Aruba IAP-305により、以前はエリア外だった建屋の2～4階までをカバーする高速無線LAN環境が構築された。HPE Aruba IAPは仮想コントローラー機能を内蔵しており、物理コントローラーなしで多数のIAPを効率的に管理できるためコスト抑制に大きな効果を発揮する。青谷学園 副主任の畔岡友香里氏は、自身の体験を交えて次のように話す。

「新しい無線LAN環境は実に快適で、パソコンを施設内のどこに移動させてもサクサク使えます。クラウド環境へのアクセスやデータ保存など、まったくストレスがなくなりました。新しい環境に

なって初めて、以前がどれほど使いにくかったのかがわかりました」

HPE Arubaのアクセスポイント製品は、ARM (Adaptive Radio Management)によりチャネルと出力調整を自動的に最適化する。トラフィック混雑時には、動的な負荷分散を行い安定的なパフォーマンスを発揮させる「エアタイムフェアネス」と呼ばれる機能や、クライアント接続とローミングをアクセスポイント側で最適制御する「ClientMatch」もユーザーの利用体験向上に寄与する。

「つながりやすさ安定性、ともに申し分ありません。従業員や実習に来た学生さんたちからも、施設内のどこでもスマートフォンが快適につながるという声が届いています」と白樫氏も笑顔を見せる。

## ベネフィット

### 無線LANを活用した インカム通話環境の導入へ

白樫氏は、HPE Arubaによる高速無線LAN環境の活用をさらに推進していくプランを練っているという。そこには介護の現場ならではのニーズがある。

「インカム (ヘッドセット付きトランシーバー) の導入に向けて性能検証をスタートさせました。インカムなら電話のようなダイヤルの手間は不要です。施設内で早急な対応が求められる事案が発生した場合など、即座に従業員間で音声コミュニケーションができます」(白樫氏)

リコージャパンは、インカム導入に必要な帯域を検証しつつ、施設内のどこでも快適に通話できるようHPE Aruba IAPの最適な設置を支援していくことになる。



- 「802.11 ac Wave2」による高速無線LAN環境を実現
- 内蔵の「仮想コントローラー機能」ですべてのIAPを統合管理
- 既存ネットワークの設定変更なしに「ゲスト環境」を構築



4F:職員ラウンジ  
HPE Aruba IAP-305  
(1台)



2-3F:居室・  
ダイニングホールなど  
HPE Aruba IAP-305  
(各1台)



1F:職員室・  
多目的ホール  
HPE Aruba IAP-305  
(5台)

## ソリューション概略

### 導入ハードウェア

- HPE Aruba IAP-305

“青谷学園では、週休3日制の導入により年間休日が173日となりました。年次有給休暇の取得率は90%を超えています。高速な無線LAN環境は、利用者様へのサービス品質向上とともに、従業員の働きやすさをいっそう改善してくれるはずです”

社会福祉法人 青谷学園  
理事長 白樫 忠 氏

「新しい無線LAN環境上にインカム環境を構築することで、一般的な導入方法との比較でコストを数分の1に抑えることができます。ぜひ今年度中に実現させたいと考えています。また、高精度な離床センサーを採用して利用者ごとの居室での状態をオンラインで確認できるようにする構想もあります」と鈴木氏も期待を込める。

リコー日本の金道氏は、「インカムや離床センサーに限らず、これからも高速無線LAN環境の活用について新しいご要望が出てくるものと思います。HPE Aruba IAPなら、将来の拡張にも柔軟に対応できますのでご安心ください」と話す。

最後に白樫氏が次のように話して締めくくった。

「青谷学園では、週休3日制の導入により年間休日173日となりました。年次有給休暇の取得率は90%を超えています。高速な無線LAN環境は、利用者様へのサービス品質向上とともに、従業員の働きやすさをいっそう改善してくれるはずです。リコー日本には、HPE Aruba製品を利用した新しい提案を期待しています」

詳しい情報

**HPE Aruba**についてはこちら

[www.hpe.com/jp/networking](http://www.hpe.com/jp/networking)

## ソリューションパートナー

# RICOH

お問い合わせはこちら

カスタマー・インフォメーションセンター

**0120-268-186** (または03-5749-8279)

月曜日～金曜日 9:00～19:00

(土曜日、日曜日、祝日、年末年始、および5月1日お休み)

日本ヒューレット・パッカード株式会社  
〒136-8711 東京都江東区大島 2-2-1



ぜひ登録ください

© Copyright 2018 Hewlett Packard Enterprise Development LP

本書の内容は、将来予告なく変更されることがあります。日本ヒューレット・パッカード製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。日本ヒューレット・パッカードは、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、脱字に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

CNT13587-01 記載事項は個別に明記された場合を除き2018年9月現在のものです。

**Hewlett Packard  
Enterprise**